

1学期 中間テスト(英語)

Class ____ No. ____ Name _____ 得点 /100

出題範囲: 一般動詞の過去形・was/were・過去進行形 (中2・1学期前半)	時間: 45分	難易度: 基礎
---	---------	---------

このテストのストーリー 4月、英語の授業の国際交流プログラムで、カナダの中学生 Leo(レオ)との文通が始まりました。届いたメッセージを聞き、チャットで週末を語り合い、交流会の準備をして、最初の返信を書く――すべての問題が「Leoに自分の毎日を伝える英語」です。(物語は期末テストに続きます)

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。ヒントを使ってよいので、まず全問に手をつけよう。

大問1 リスニング Leoからのボイスメッセージと、週末についての対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 国際交流プログラムの相手、カナダのLeoから最初のボイスメッセージが届きました(Part A)。週明けの朝、あなたはHarunaと週末の話をしています(Part B)。返信のネタ帳を作るつもりで、メモを取りながら聞きましょう。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Leoからのボイスメッセージを聞いて、「Leoメモ」の空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

住んでいる都市	(①)	年れい	(②)さい
先週末にしたこと	(③)	週末によくすること	(④)

⑤ メッセージの最後の「Leoからの質問」に、英語で答えよう。(3点) 書き出し: I _____ last weekend.	
--	--

Part B 月曜日の朝、あなたとHarunaが週末の話をしています。2人の対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) あなたが週末に行った場所はどこですか。日本語で。	()
(2) あなたがそこで本を読んでいた時間はどれくらいですか。 ア 30分 イ 1時間 ウ 2時間	()
(3) Harunaが週末にしたことはどれですか。 ア 祖母と写真アルバムを作った イ 映画を見に行った ウ 図書館で勉強した	()
(4) この対話の後、2人が昼休みにしそうなことはどれですか。(3点) ア Leoへの返信の内容をいっしょに考える イ 体育館でバスケットボールをする ウ カナダの本を図書館に返す	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能

／20点

場面 Leoが学級の交流チャットにゲスト参加しました。最初に話しかけたのはHarunaです。

Leo: Hi, everyone! I'm Leo from Canada. Nice to(①)you!
Haruna: Welcome, Leo! How(②)your weekend?
Leo: It was great! I (③) to a hockey game with my father.
Haruna: Cool!(④)your team win?
Leo: Yes! They (⑤) the game, 2 to 1!
Haruna: Nice! I(⑥)a movie with my sister yesterday.
Leo: Was it interesting?
Haruna: Yes! But my sister was (⑦) in the theater!
Leo: Ha-ha! What(⑧)you doing at nine last night?
Haruna: My homework! Don't laugh!

語群(1回ずつ・各2点):meet / was / went / Did / won / saw / sleeping / were / lives / has

つづけて、あなたがノートに書いたLeoのプロフィールメモです。(各2点)

Leo (⑨) in Toronto with his family. / He (⑩) two dogs and a cat.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り オンライン交流会でのLeoとのやり取り。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表

／10点

場面 来月の国際交流デーに向けて、Leoの学校と接続テストをしました。画面ごしのやり取りです。
場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) オンライン交流会の冒頭。画面の向こうのLeoに「聞こえていますか」と確認するなら？ ア Are you fine? イ Do you see me every day? ウ Can you hear me?	()
(2) Leoの英語が速くて聞き取れませんでした。ゆっくりもう一度お願いするなら？ ア Could you say that again, please? イ I don't know you. ウ You are too fast, stop.	()
(3) Leoが練習した日本語で「コンニチハ!」と言ってくれました。ほめて返すなら？ ア I speak Japanese every day. イ Your Japanese is great! ウ No, that's wrong.	()
(4) 文化祭の写真を画面で見せながら、「これは文化祭でとった写真です」と伝えるなら？ ア I take this photo now. イ This is my new camera. ウ I took this photo at the school festival.	()
(5) 交流会の終わり。「話せて楽しかった。またね」と伝えるなら？ ア It was nice talking with you. See you! イ Nice to meet you. ウ I was busy yesterday.	()

1学期 中間テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問4 資料の読み取り 交流デーのお知らせとブース一覧を読んで、Leoの「知りたい」に応えよう。 知技・思判表

場面 国際交流デーのお知らせが2枚、ろうかにはっています。Leoからは希望のメッセージが届いています。 ／20点

INTERNATIONAL DAY	BOOTH LIST
Date: June 20 (Friday), 3:45-5:00 Place: AV Room Online meeting with Leo's school in Canada! Join one booth and talk about it. Sign up: by June 13, to the English staff	1: Japanese games (karuta & kendama) 2: School lunch history 3: Our club activities 4: Festival photos — school festival & fireworks ★ Each booth talks for 10 minutes.

Leoからのメッセージ "I want to learn about Japanese school clubs! And I love festival photos. What did you do at your school festival?"

(1) 2枚のお知らせから読み取ろう。(各2点) ① 交流会の日にちは6月何日?	6月() 日	② 場所はどこ?	()
③ 申し込みの締め切りは? ア 6月13日 イ 6月20日 ウ 当日	()	④ 1つのブースの発表時間は?	()分
(2) 「日本の部活について知りたい」というLeoの希望に合うブースは?(記号2点) 1 日本の遊び 2 給食の歴史 3 部活紹介 4 祭りの写真	()		
そう考えた理由に合うものは?(3点) ア ブース3は部活動を紹介するブースだから イ ブース3がいちばん人気だから ウ Leoはけん玉が得意だから	()		
(3) 「祭りの写真が大好き」というLeoに合うブースは?(3点) ア ブース1 イ ブース2 ウ ブース4	()		
(4) 交流会でLeoに伝えるひとこととして合う英語は?(4点) ア You can see festival photos at Booth 4! イ I don't like festivals. ウ The AV room is on the second floor.	()		

1学期 中間テスト(英語)(つづき)

Class____ No.____ Name_____

大問5 読解 1学期前半に学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。

知技・思判表

／20点

場面 Leoに「教科書でどんな話を読んでいるの?」と聞かれました。内容を思い出しながら読み直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、1学期前半に学習した教科書の本文・対話文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味として合うものを選ぼう(3点)	()
問4 下線部について、理由や気持ちとして合うものを選ぼう(3点)	()
問5 本文のテーマについて、あなた自身のことを英語で書こう(3点) 書き出し:I went to _____. / I enjoyed _____.	

大問6 ライティング Leoに最初の返信メールを書こう。テーマは「わたしの週末」。

知技・思判表

／10点

場面 いよいよLeoに最初の返信メールを書きます。テーマは「わたしの週末」。先週末にしたことを伝え、Leoとの文通の第一歩にしましょう。

条件 ①あいさつと自分の名前 ②先週末にしたこと を1つ(過去形で) ③その感想・様子 を1つ

書き出しヒント:Hi, Leo! I'm _____. / I went to _____. / It was _____.

3文以上。Leoが「返事を書きたい!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Leoに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字(文頭・I・名前) ☐ 文末のピリオド／? ☐ 過去の文の動詞が過去形になっているか(go→went・不規則動詞) ☐ 読む相手(Leo)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 54点／思考・判断・表現 46点(中2は中1より思判表の比重を上げる。学年進行の設計は使い方ガイド参照)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	文通相手からのボイスメッセージと、週末についての友人との対話を聞き、メモの整理と行動の予測をする	必要な情報の聞き取り(知技)／状況からの判断・聞いて自分のことを過去形で書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	文通相手が参加した学級チャット・メモが成り立つように語形を判断する	文脈の中で 過去形(規則・不規則)・was/were・過去進行形を正しく使う(未来表現は範囲外＝期末で扱う)	知技	20(2点×10)
大問3	オンライン交流の場面(機器確認・聞き返し・ほめる・写真の説明・別れ)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	国際交流デーのお知らせとブース一覧を読み、文通相手の希望に合う情報を選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×5・3点×2・4点×1)
大問5	教科書本文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→推論→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／本文をふまえて表現する(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	文通相手への最初の返信メール(週末にしたこと)を書く	条件に沿って、読み手を意識して過去の出来事を書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Leoからのボイスメッセージ)
Hello! I'm Leo Miller. Thank you for your messages! (2sec)
I live in Toronto, Canada, with my family. (2sec)
I'm fourteen years old. (2sec)
Last weekend, I went to a hockey game with my father. It was exciting! (3sec)
I usually take photos on weekends. I love my camera. (3sec)
Now, here is my question. What did you do last weekend? (3sec)
Write to me soon. Bye!

Part B(月曜の朝、あなたとHarunaの対話)
Haruna: Good morning! How was your weekend? (2sec)
You: It was nice. I went to the city library. (2sec)
Haruna: The city library? Why? (2sec)
You: I looked for a book about Canada — for the mail to Leo. (2sec)
Haruna: Oh, nice! Did you find a good one? (2sec)
You: Yes. I read it there for two hours. (2sec)
Haruna: Two hours! Great. I visited my grandmother on Sunday. (2sec)
You: That's nice. What did you do with her? (2sec)
Haruna: We made a photo album together. It was fun. (2sec)
You: Sounds good! Hey, let's think about our mail to Leo at lunch time. (2sec)
Haruna: Yes, let's!

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①トロント ②14 ③(父と)ホッケーの試合を見に行った ④写真をとる ⑤例:I played soccer last weekend.(過去形で書けていれば内容は自由。発展版は2文目にLeoへの質問があれば満点) B:(1) 市立図書館 (2) ウ (3) ア (4) ア
大問2	① meet ② was ③ went ④ Did ⑤ won ⑥ saw ⑦ sleeping ⑧ were ⑨ lives ⑩ has ※⑥は watched も許容(映画を「見た」として自然なため)。⑨⑩は三単現(中1既習)の維持を見る問題。許容解は採点前に決めてそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) ウ (2) ア (3) イ (4) ウ (5) ア / 発展版(機器確認の場面を除く4問):(1) ア (2) イ (3) ウ (4) ア
大問4	(1) ①20日 ②視聴覚室(AV Room) ③ア ④10分 (2) 3 / 理由:Leoのメッセージ(部活について知りたい)とブース一覧(3は部活紹介)の両方への言及で満点、片方のみは部分点(2点) (3) ブース4で祭りや花火の写真が見られるとすすめる(発展は3と4を続けて回る等の両立プランで満点) (4) 例:You can see festival photos at Booth 4!(一覧の情報を使った1文なら可。伝わる英文=2+情報=2)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語・派生語を下線に。問4は手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	文通相手のLeoに自分の週末を知らせるという目的に応じて、条件(したこと・感想など)を含む返信を、過去の表現を用いた意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Leo)が返事を書きたくなくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず思判表と一体的に見る(国研の立場)。・cの生徒へ:条件チェック表で自己点検→書き直し再評価。・goed 型の規則化エラーは「過去にしようとした」試みとして部分評価し、返却時に正しい形を指導。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Leo を自校の交流相手／ALTの母校の設定に、Haruna をなじむ名前に、交流会を自校の行事に差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	過去進行形が未習なら大問2⑦⑧を過去形の空所(slept／did)に差し替える。will・be going to は本版に出ない(期末版で「Leo来日の予定」として初登場)。
大問5の本文	1学期前半に学習した範囲の本文・対話文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1＋要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回)。時間の目安はリスニング10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集計も簡単。変えるときは設計表の観点バランスを保つ。

